

検討会について

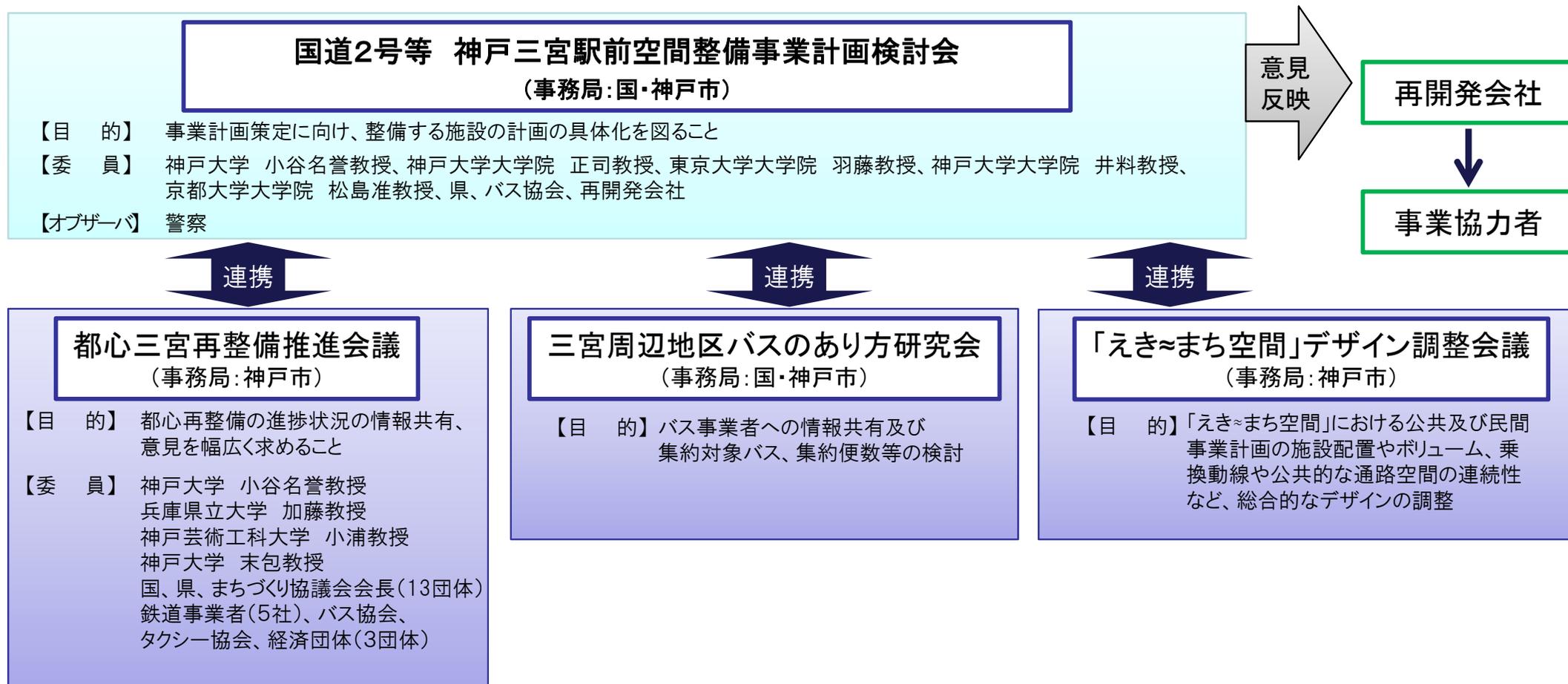
1. 検討会の位置付け
2. 検討会のスケジュール
3. 検討概要
4. 事業計画のとりまとめに向けた検討課題

1. 検討会の位置付け

国道2号等神戸三宮駅前空間の事業計画のとりまとめに向けて、「中間とりまとめ」（2019年8月公表）の具体化を図る。

- 当検討会は、神戸三宮駅前空間の事業計画【中間とりまとめ】(2019年8月公表)で示した5つの整備する施設について、計画の具体化を図る目的で設置する。
- 「都心三宮再整備推進会議」、「三宮周辺地区バスのあり方研究会」、「えき~まち空間」デザイン調整会議」と連携した検討結果を事業計画としてとりまとめ、神戸三宮駅前空間の整備計画に反映させる。

■ 検討体制

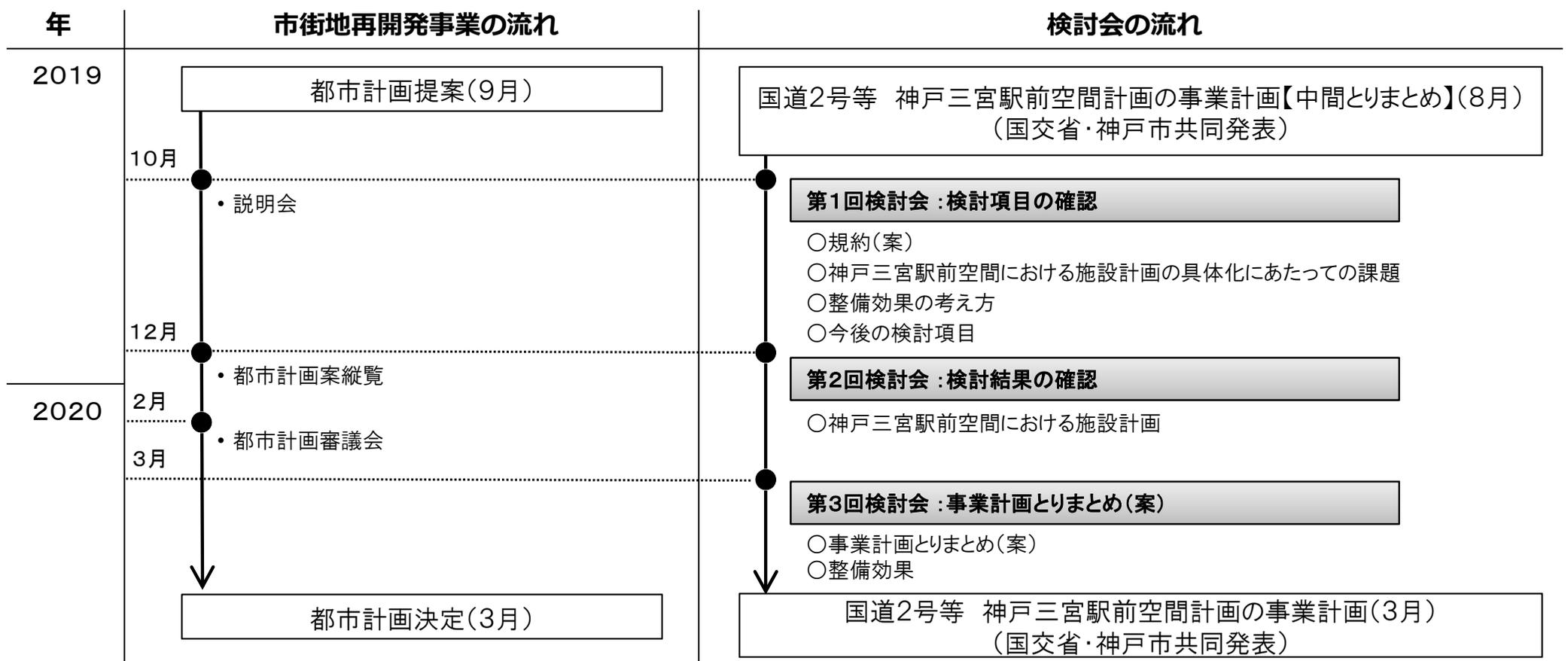


2. 検討会のスケジュール

検討会は計3回開催し、各回での検討をふまえて、2020年3月の事業計画のとりまとめを目指す。

- バスターミナル整備を含む市街地再開発事業について、再開発会社は2019年9月に都市計画提案を行っており、今後は公聴会・説明会、都市計画審議会等を経て、2020年3月に都市計画決定の予定である。
- 当検討会は2020年3月の事業計画のとりまとめに向け、本日を含めて今後3回の検討会を開催予定である。

■ 市街地再開発事業と検討会の今後の流れ（予定）



3. 検討概要

3. 1 検討範囲

神戸三宮駅前空間の事業計画の対象範囲は、「三宮クロススクエア」と「国道2号」および「中・長距離バスの集約エリア」周辺とする。

■ 上位計画・関連計画をふまえた対象範囲



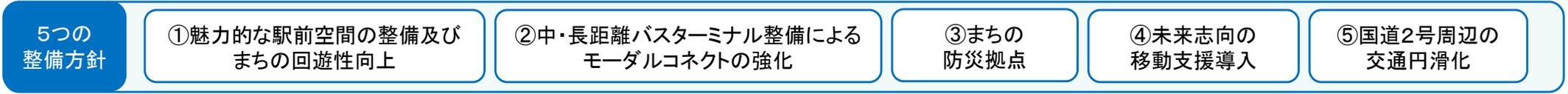
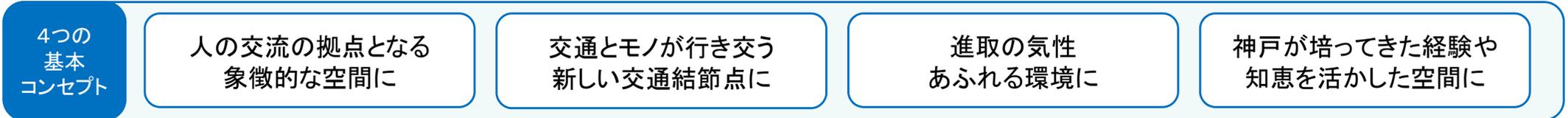
出典)神戸三宮「えき〜まち空間」基本計画(H30.9)をもとに作成

3. 検討概要

3. 2 検討内容とゾーニング

当検討会では、4つの基本コンセプトおよび5つの整備方針のもとに位置づけられる「5つの整備する施設」について、検討を重ね、具体化を図る。

■ 基本コンセプトおよび整備方針の関係



当検討会では事業計画とりまとめに向けて5つの施設の具体化を図る



3. 検討概要

3. 2 検討内容とゾーニング

■ ゾーニング

(1) 集約型公共交通ターミナル

- 中・長距離バスや新たなモビリティなど、多様なモードを利用しやすい新たな交通結節点を整備

(2) 人の賑わいと回遊性を創出するデッキ

- 三宮クロススクエアと再開発ビルが一体となった賑わい空間の創出や神戸三宮駅前空間の回遊性を向上するためのデッキを整備

(3) 防災都市・神戸の駅前防災拠点

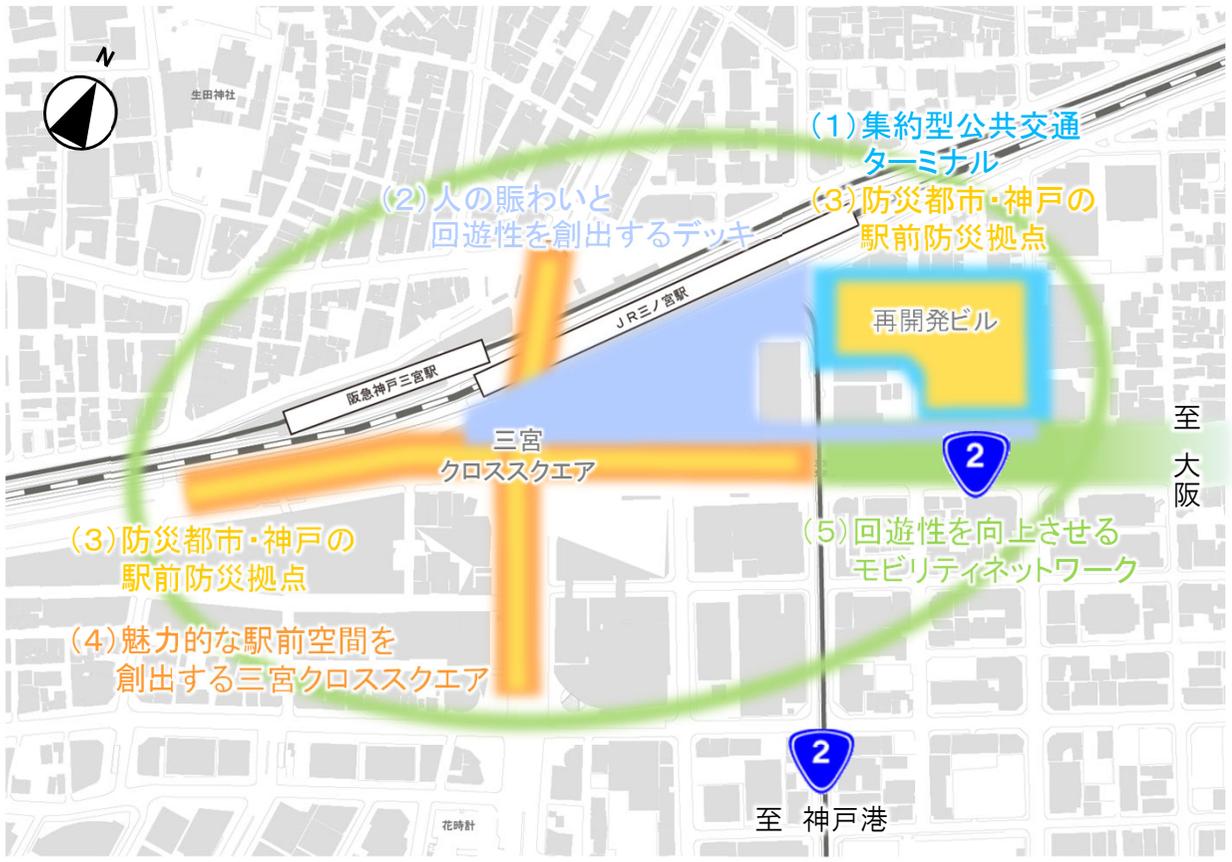
- 三宮クロススクエアのオープンスペースに一時退避場所等を整備
- 再開発ビルを代替輸送拠点、物資集積拠点等に活用

(4) 魅力的な駅前空間を創出する三宮クロススクエア

- 道路を人と公共交通優先の空間に転換する「三宮クロススクエア」により、“ひと”中心の空間を地上に整備

(5) 回遊性を向上させるモビリティネットワーク

- 道路や神戸三宮駅前空間の回遊性を向上させる新たなモビリティネットワークを構築



4. 事業計画のとりまとめに向けた検討課題

当検討会では、5つの整備する施設の具体化に向けた課題について検討し、事業計画のとりまとめを目指す。

■ 各施設の具体化に向けた検討課題

(1) 集約型公共交通ターミナル

- 集約対象となる中・長距離バス
 - ・段階的な集約方法
- 新バスターミナルの乗降場の規模・バス配置
 - ・バスターミナルのバス配置と規模（乗降場・車路の広さ）
 - ・待機バスの設置箇所
- 待合空間の配置と導入機能
 - ・待合空間の設置階
 - ・待合空間の導入機能、規模等（兵庫らしさ、神戸らしさの発信、待合空間のコンセプトに基づいた機能の導入）

(2) 人の賑わいと回遊性を創出するデッキ

- 安全かつ快適な歩行者動線
 - ・デッキのバリアフリー化（バス利用者動線における上下差・段差への対応）
- デッキの機能・デザイン
 - ・デッキに導入する滞留機能・賑わい機能

(3) 防災都市・神戸の駅前防災拠点

- 屋外の防災機能
 - ・屋外空間の役割と導入機能
- 再開発ビルの防災機能
 - ・バスターミナルの活用方法
 - ・再開発ビルへの導入機能

(4) 魅力的な駅前空間を創出する三宮クロススクエア

- 空間の利活用
 - ・「三宮クロススクエア」東側の活用方法
- 国道2号上空デッキとの連続性
 - ・バスターミナルと「三宮クロススクエア」が連携した空間整備や回遊性の検討（デッキへの人の誘導方法）

(5) 回遊性を向上させるモビリティネットワーク

- 周辺開発計画に応じた道路空間の進化
 - ・空間の活用方法
- モビリティ・スポットの配置
 - ・モビリティ・スポットの配置場所



<整備・管理・運営手法>

- 整備・管理・運営スキーム
 - ・民間事業者の活用